

認知症の介護のポイントについて

今年例年よりだいぶ早く桜が咲き始め（4月6日）あっという間に満開になり、見事にパッと散りました。

みなさんと一緒に桜の土手を散歩したり、ベランダでお花見弁当を食べたり、一緒にお団子作りをしたりして、桜の季節を満喫しました。

みなさんと一緒につくった詩をご紹介します。

大河原の誇り桜

一日の中でも桜は、変わっていきます  
 今日の桜と明日の桜は、違います  
 お天気でも変わります  
 一時として同じ桜はありません  
 朝早い静かな中の桜は、とても上品です  
 夜の桜は、妖しい魅力です  
 日中の桜は、見る人の気持ちで変わります  
 白石川と蔵王山と桜  
 三つそろって  
 どこにもない素晴らしい風景を作り出しています



この季節、私たちはこの町に住んでよかったです。一番思う時期です。

4月は春の花々のオブジェを作成していただきました。

大河原のシンボルでもある桜の木は、土手の桜にも負けないくらい、ほっとあいの中にも満開に咲きました。さまざまな色のチューリップや菜の花にも囲まれて、とても暖かな春らしい風景が出来上がりました。

また、花見をかねて「五感を使って」歩いていただきました。花を見て、風を感じ、匂いをかぎ、いつもはゆっくり歩く方も、



この時ばかりは足が軽やかに進んでおりました。

五月の行事

- ・お茶会
- ・天気の良い日は「五感を使って歩こう」
- ・柏餅、笹まきを作る
- ・その他

また、花見をかねて「五感を使って」歩いていただきました。花を見て、風を感じ、匂いをかぎ、いつもはゆっくり歩く方も、



四月号の通所介護便りでは、認知症には「脳の細胞が壊れることによって起こる中核症状」と「幻想・妄想・徘徊・異食・攻撃的言動・危険行為・夕方の不穏状態・不潔行為・性的逸脱行為・ケアへの抵抗」などの周辺症状があることをお話しいたしました。

**周辺症状（行動障害）は、認知症の患者さんの心の訴え、助けを求める表現です。**適切なケアを行うことにより行動障害は軽減します。

（適切な接し方）

- ・自尊心を傷つけない
- ・視野に入って、本人の目を見て話す
- ・本人の動くスピードに沿って、ゆっくり、楽しく、やわらかく話す
- ・感情面(安心・嬉しい・楽しい・心地よいなど)に働きかける
- ・年長者としての誇りと自身を引き出す
- ・簡潔に伝える

- ・わかる言葉を使う
- ・真剣に聞く態度を示す、訂正しない
- ・昔話を聞く
- ・見やすい日めくりのこよみ・カレンダー・時計を身近に置く
- ・混乱が見られるときには文字を書いた紙や馴染みのものを活用する

（介護の七つのポイント）

- ①環境を変えない
- ②生活習慣を変えない
- ③人間関係を変えない
- ④身体の不調を見逃さない
- ⑤自分の安心できる空間を作る
- ⑥一人ひとりの役割を作る
- ⑦一人ひとりの関係づくり(相性・母性・仲間)

今回は「認知症介護をしている家族の気持ちについて」です。

NPO法人ほっとあいからのご案内

「ほっとする・あったかい・助け合い・愛」

特定非営利活動法人ほっとあいは、平成10年の設立時より「住み慣れた地域で暮らしたい」と願う人々の思いに寄り添いながら活動を続けてまいりました。

その時々様々ニーズに対応するために多様なサービスを展開しています。

みなさまのまわりで、ほっとあいを必要とされる方がいらっしゃいましたら、担当の者までお声がけ下さい。

各事業の担当者がご相談を承ります。 ☎0224-52-8555

自主事業(住民参加型在宅福祉サービス)

- ・ファミリーサポートホームヘルプサービス
- ・外出支援・移動サービス
- ・ほっとあいの家(デイケア・ナイトケア)
- ・おしゃべりサロンほっとあい(毎週土曜日)

介護保険事業

- ・居宅介護支援・訪問介護・通所介護

障害者自立支援法

- ・ホームヘルプサービス

行政委託事業

- ・軽度生活支援・障害者等移動支援
- ・障害者等一時預かり